

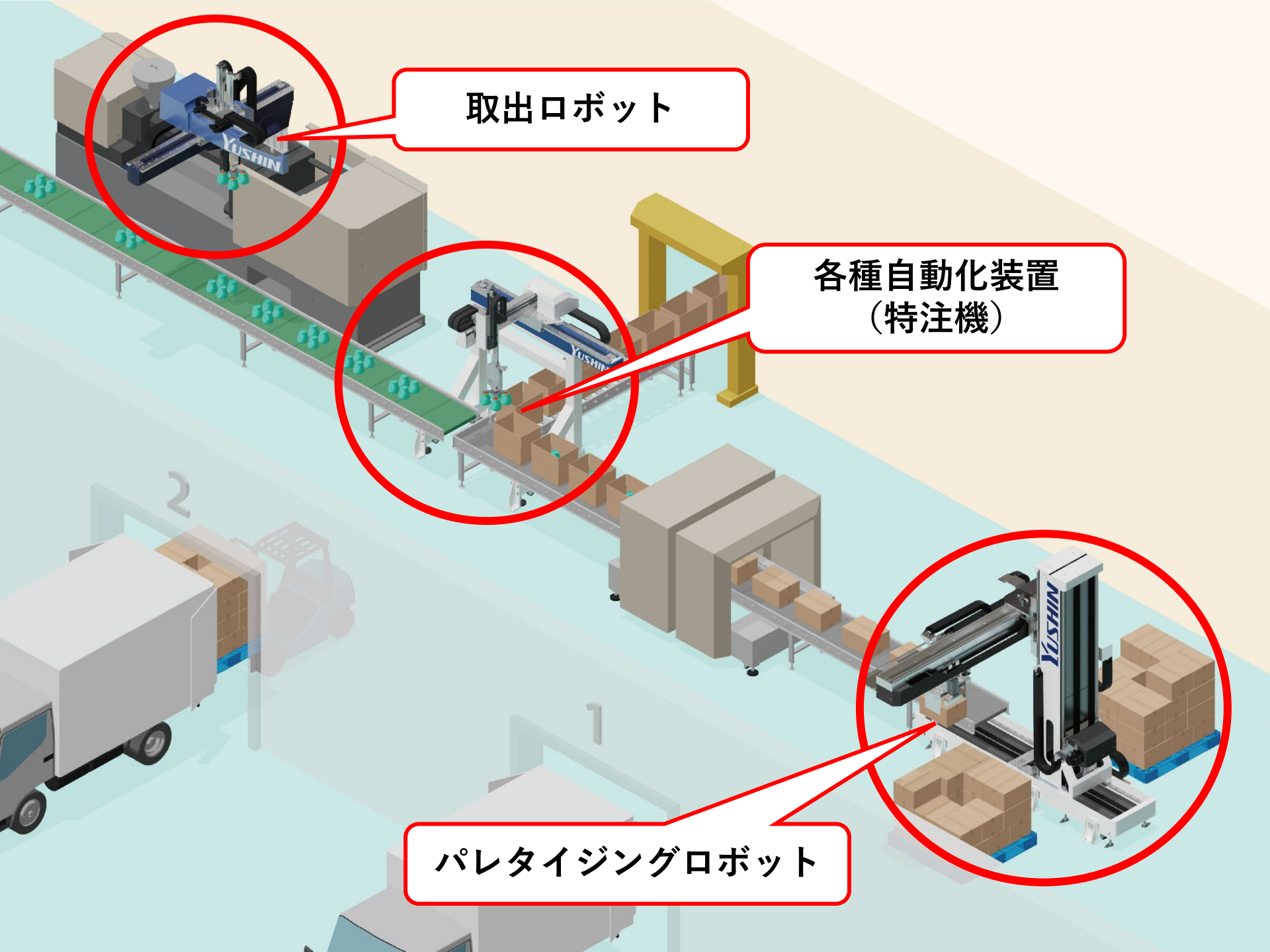
会社説明会資料

YUSHIN

スタンダード市場 証券コード6482

2026年7月4日

YUSHIN株式会社



取出口ロボット

各種自動化装置
(特注機)

パレタイジングロボット

1. 会社概要・事業紹介

2. YUSHINの歴史

3. 直近の業績

4. 中長期経営目標・戦略

5. 株主還元策

社名	YUSHIN株式会社
代表者	代表取締役社長 小谷 高代
設立	1973年10月
資本金	19億8,566万円
社員数	803人 (2026年3月末現在、連結)
連結売上高	231億円 (2026年3月期)
事業内容	産業用直交型ロボットを中心に 工場自動化に関連する装置・ システムの開発、製造、販売
上場	東証スタンダード市場
証券コード	6482
売買単位	100株



まず、想いとどく

世界中の工場に安心・安全を提供し、
生産性が高く環境負荷の小さいものづくりをサポートすることで、
サステナブルな社会の構築に貢献し、企業価値の向上につなげます。

■ 社名の由来

創業者 小谷 進の「信用有る会社でありたい」という思いから
信用が有る ▶▶▶ 有信 ▶▶▶ YUSHIN

関連する社会課題・環境変化

新たな産業の台頭
(例：AI、EV)

気候変動
→省エネ

製造業の人手不足
→自動化・省力化

ビジネスと人権
→労働環境改善

世界各国の
生活水準向上

YUSHINのアウトプット

ロボット

特注機

部品・保守
サービス

< アウトプットによる社会価値 >

- ・ **安心・安全**な商品をお届けする
- ・ 高品質かつ安価な商品の生産サポート
→世界の人々の**生活水準の底上げ**
- ・ **環境保全**への対応

ロボット



取出ロボット（直交型）



取出ロボット（スイング型）



パレタイジングロボット

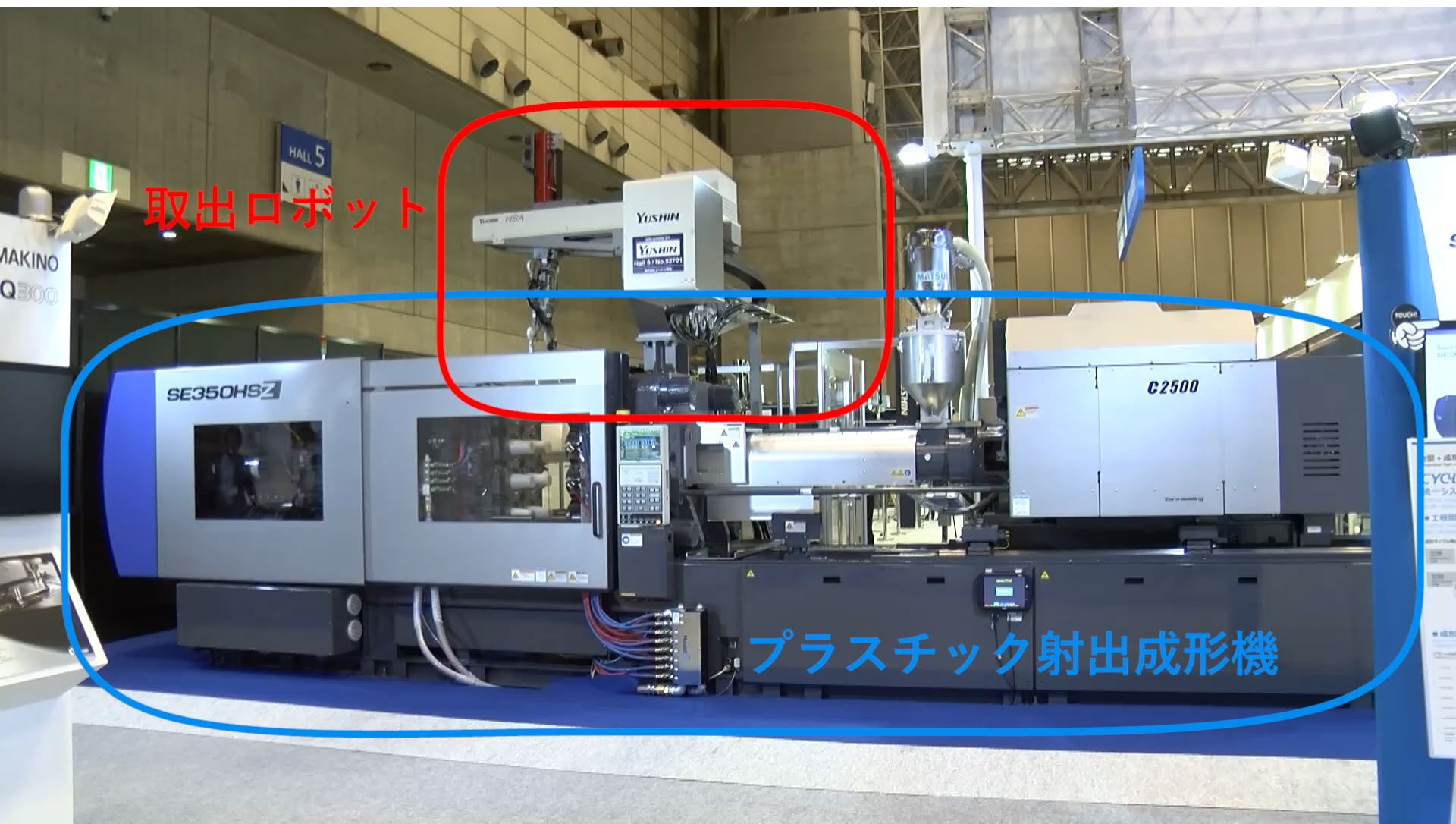
特注機



ゲートカットストックシステムなど

部品・保守サービス





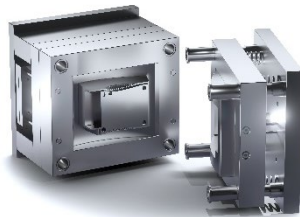
プラスチック射出成形とは

YUSHIN

STEP 01 樹脂を溶かす

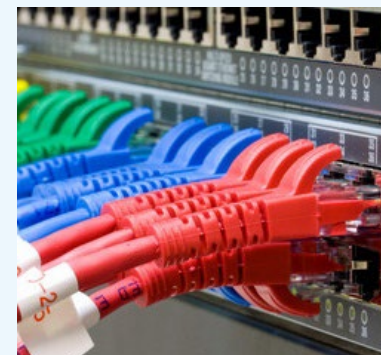


STEP 02 固める

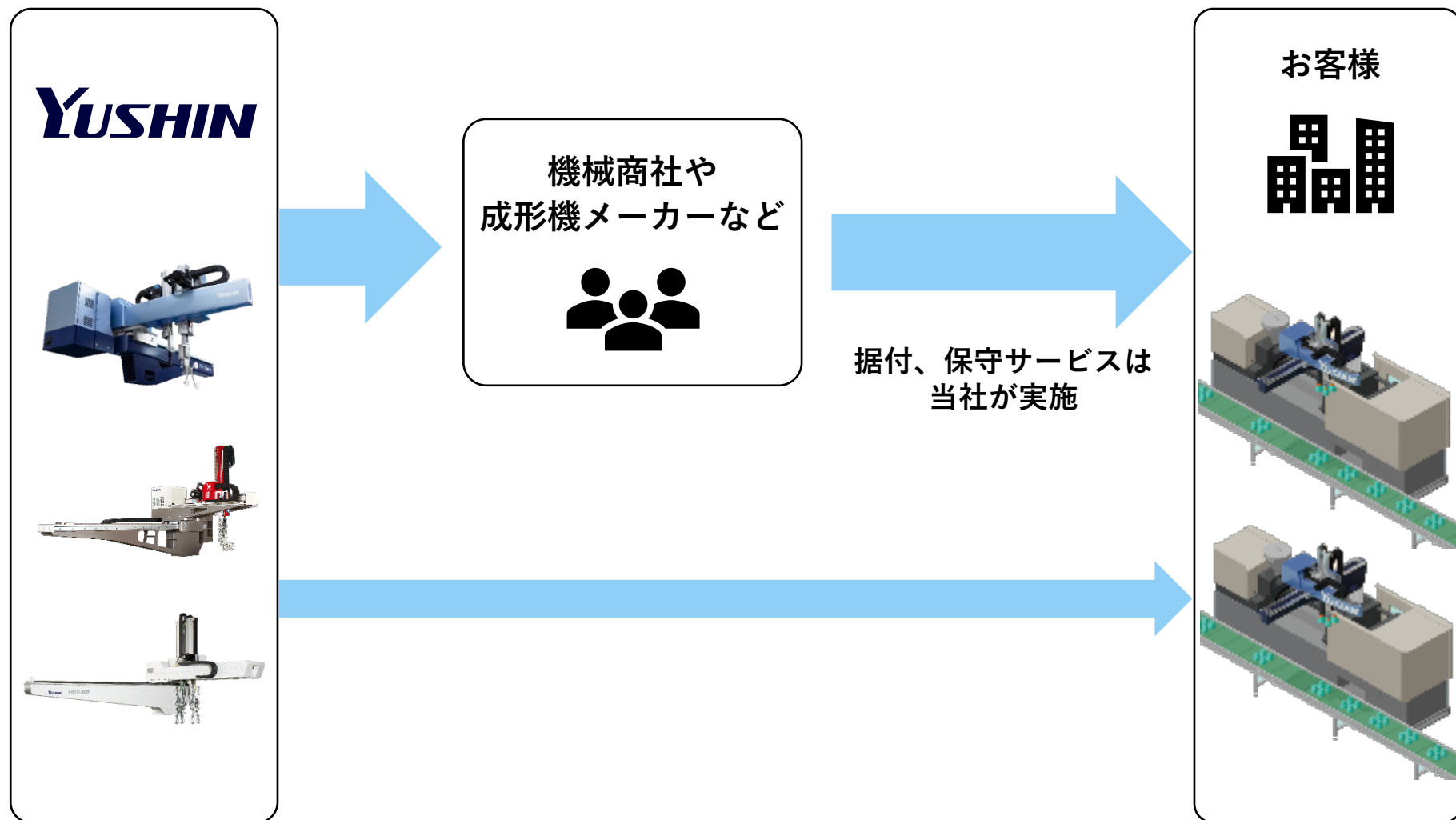


STEP 03 取り出す





世界中のものづくりの製造現場に
生産自動化を支えるYUSHINの技術があります

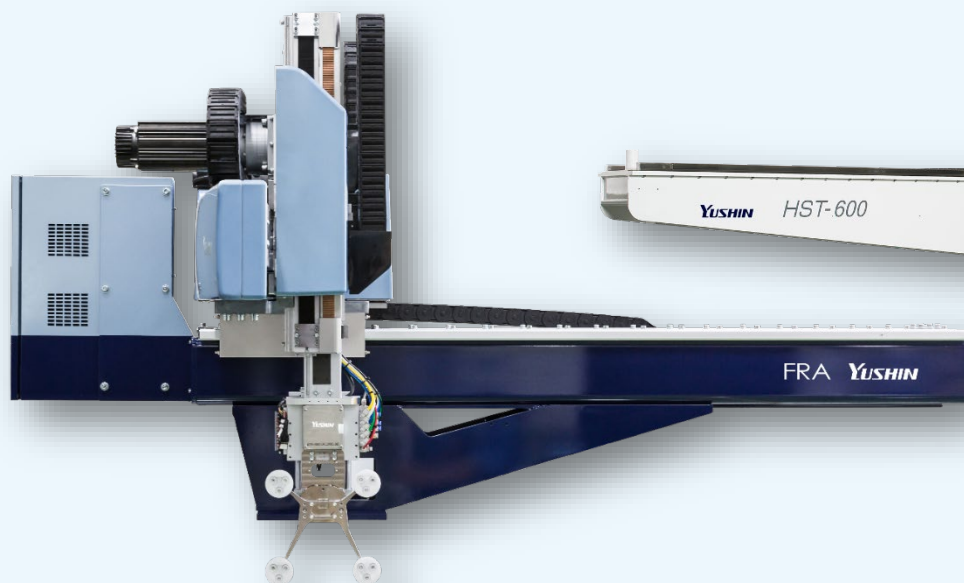


※一例として国内における販売の流れをイメージ化

取出口ボットはなぜ必要か？

01.

労働安全性を上げる



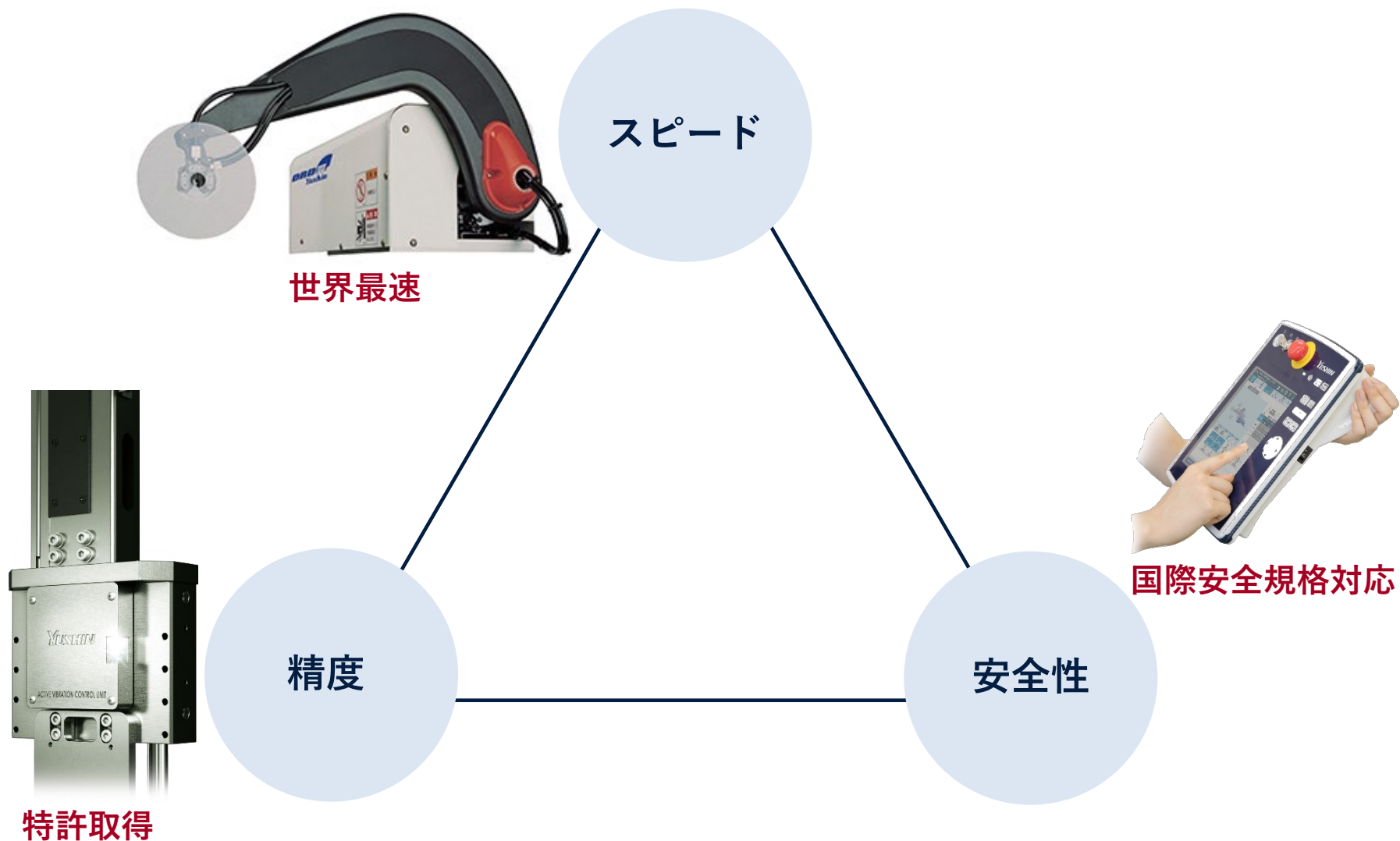
02.

プラスチック成形品の
歩留まり（良品率）
を上げる

03.

射出成形機の効率を上げる





技術力

- ・ 高速取出し
- ・ 省エネ
- ・ 提案力

幅広いユーザー層

- ・ 多様な販売先業種
- ・ グローバルに展開
- ・ 新業種への進出

人的資本経営

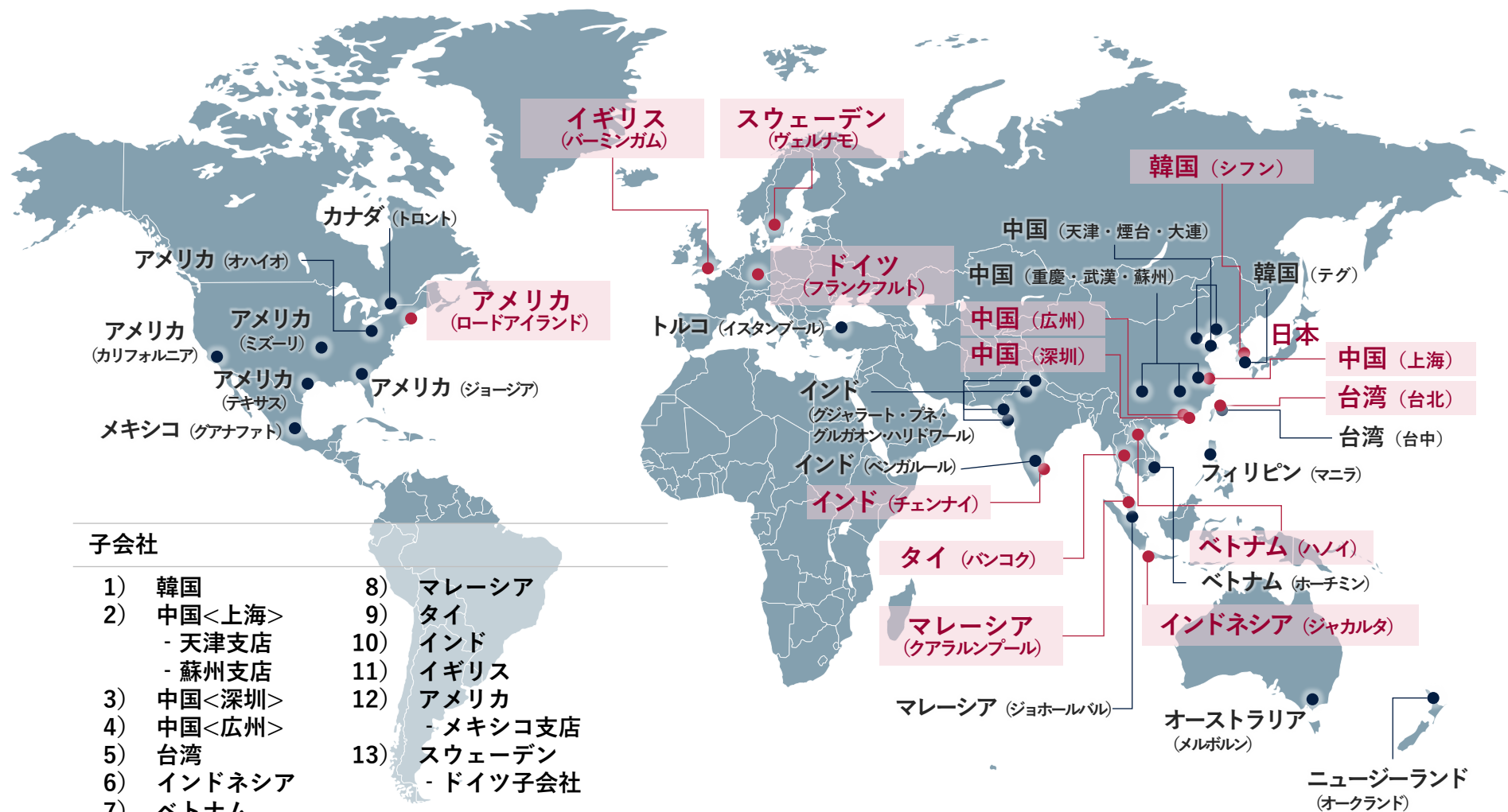
これらの強みを生み出す
源泉となる
人的資本の強化に
注力しています

- ・ 業界トップシェア
- ・ 労働安全
- ・ サポート力

信用

- ・ 強固なバランスシート
- ・ 高い自己資本比率

財務体質



1. 会社概要・事業紹介

2. YUSHINの歴史

3. 直近の業績

4. 中長期経営目標・戦略

5. 株主還元策

- 1971年 ユーシン精機創立
- 1973年 株式会社ユーシン精機設立 (資本金400万円)
- 1978年 業界最後発 取出口ロボット市場へ参入
- 1988年 YUSHIN AMERICA, INC. (アメリカ)設立
- 1989年 取出口ロボットSERVOLINER発売
 - 業界初の全軸サーボモータ駆動
- 1994年 ディスク取出口ロボットDRD発売
 - 世界最速の取出タイム0.15秒
- 1996年 業界初のカラータッチパネル式コントローラ
大証二部に株式上場
- 1999年 東証一部に株式上場 (市場初、大証二部から東証一部へ昇格)
国内シェアトップに
- 2002年 ディスク取出口ロボットDRDIII発売
 - 取出タイム0.069秒、世界最速記録を大幅更新



2010年 京都大学と共同開発した最適設計による取出口ロボットHSAを発売

2012年 「構造最適化技術に基づく高性能射出成形機用取出口ロボットの開発」

日本機械学会賞(技術) <HSAシリーズ>

2013年 優秀省エネルギー機器日本機械工業連合会会長賞 <YCシリーズ>

2016年 現本社工場へ移転

2017年 ハイエンド製品取出口ロボットFRA発売

独自のIoTサービス「INTU LINE」発表

2019年 「アクティブ振動制御装置を搭載した射出成形機用取出口ロボットの開発」

日本機械学会賞(技術) <FRAシリーズ>

レッドドット・デザイン賞2019 <FRAシリーズ>

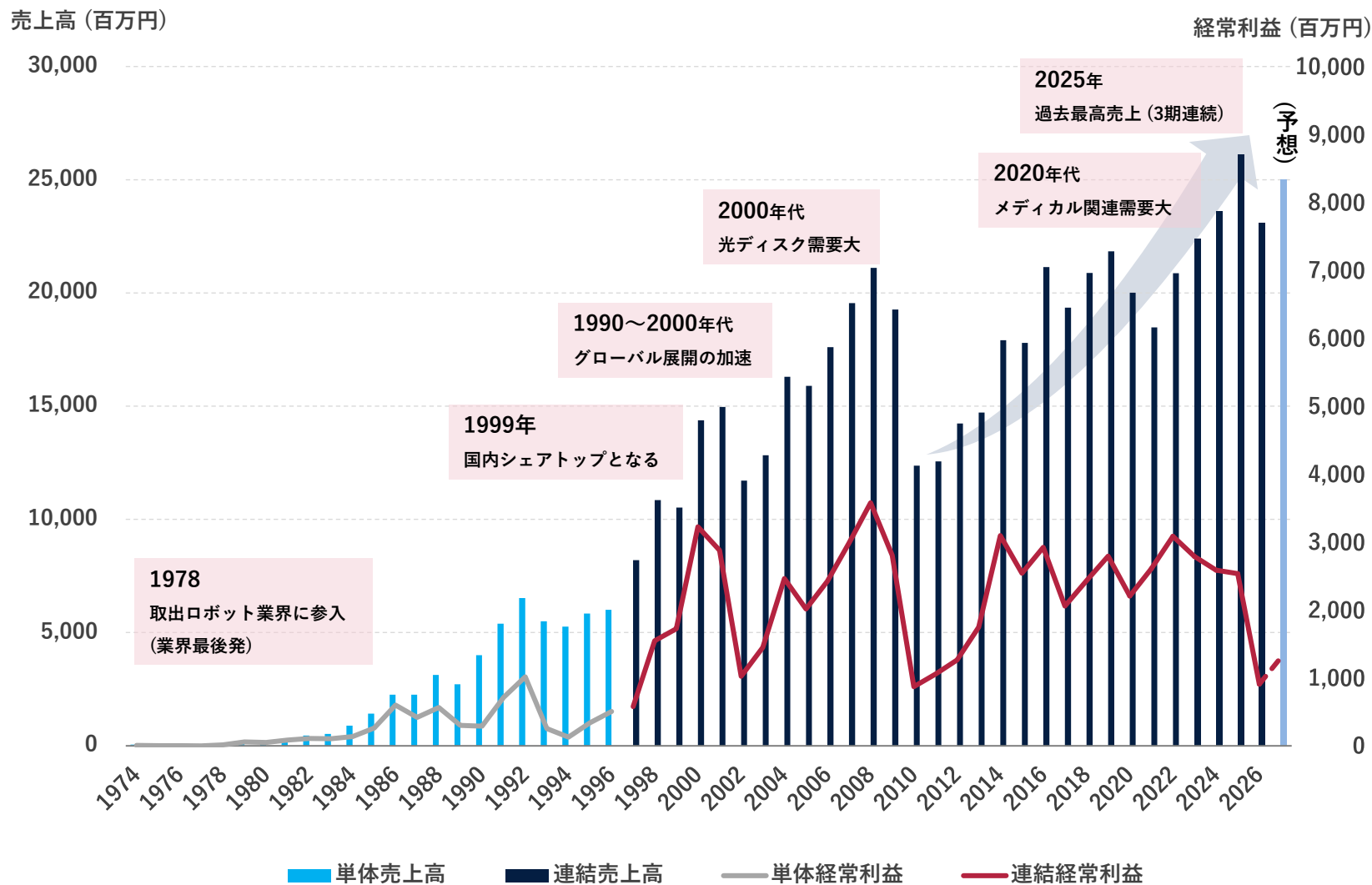
2020年 パレタイジングロボット発売

2023年 WEMO AUTOMATION AB (スウェーデン)の全株式を取得

2025年 「YUSHIN株式会社」に社名変更



reddot design award
winner 2019



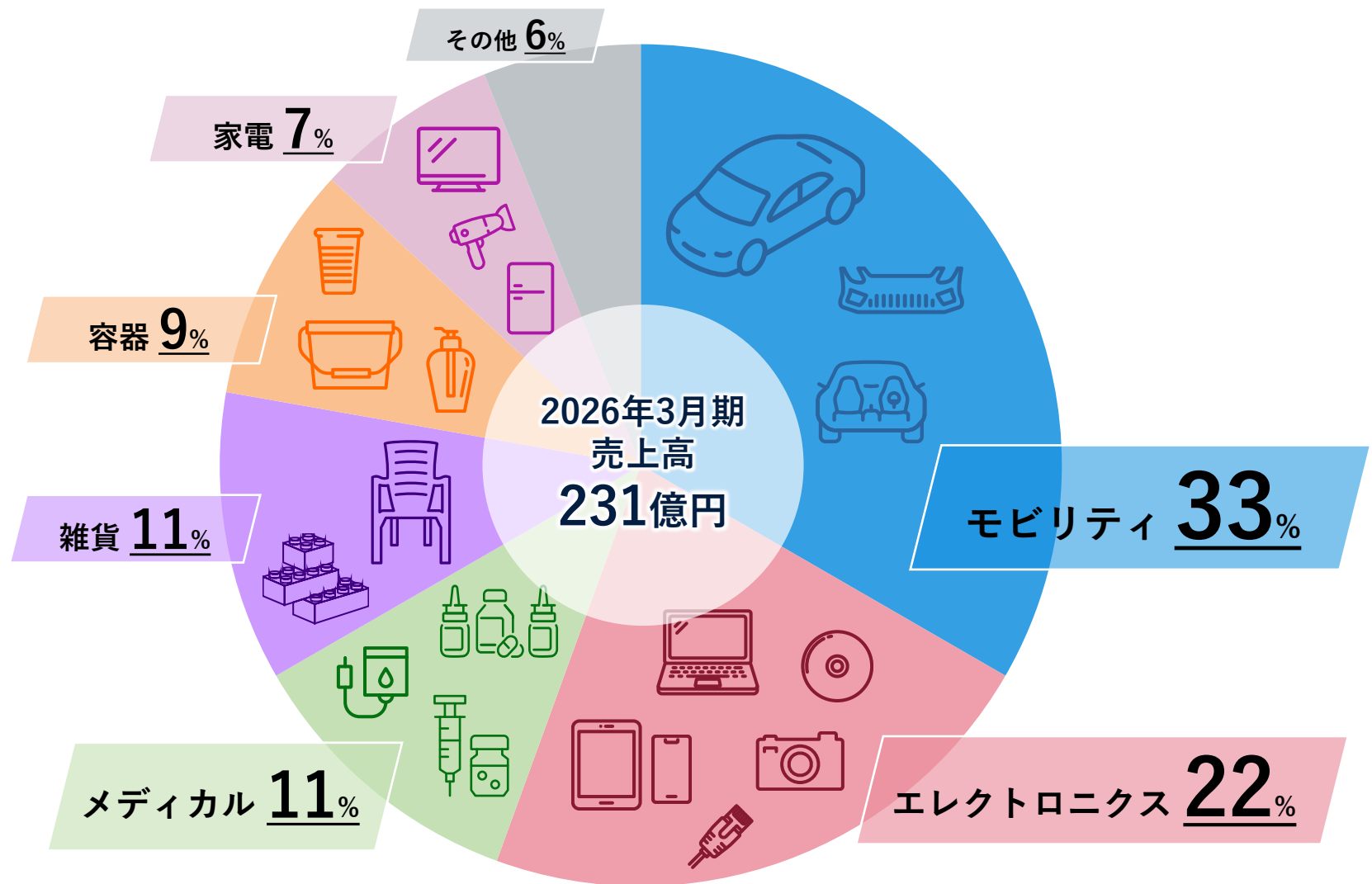
1. 会社概要・事業紹介

2. YUSHINの歴史

3. 直近の業績

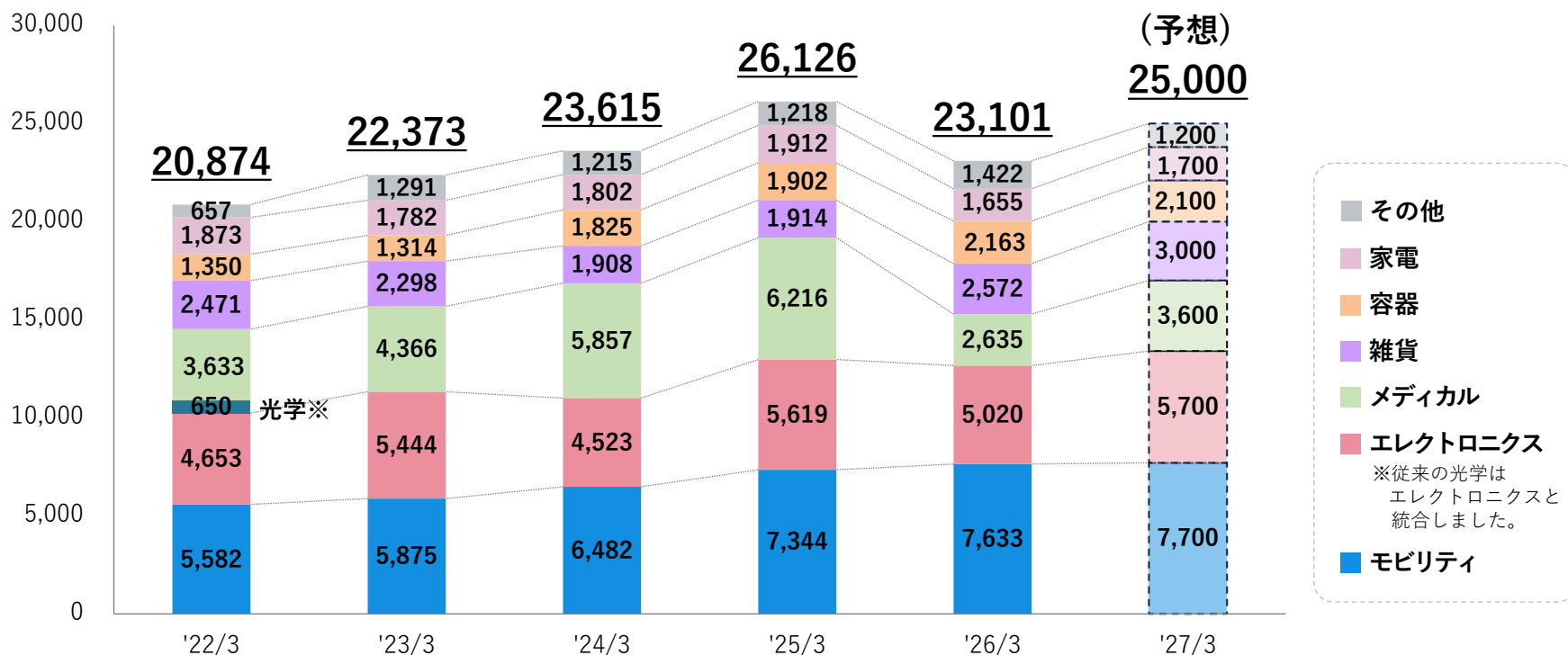
4. 中長期経営目標・戦略

5. 株主還元策



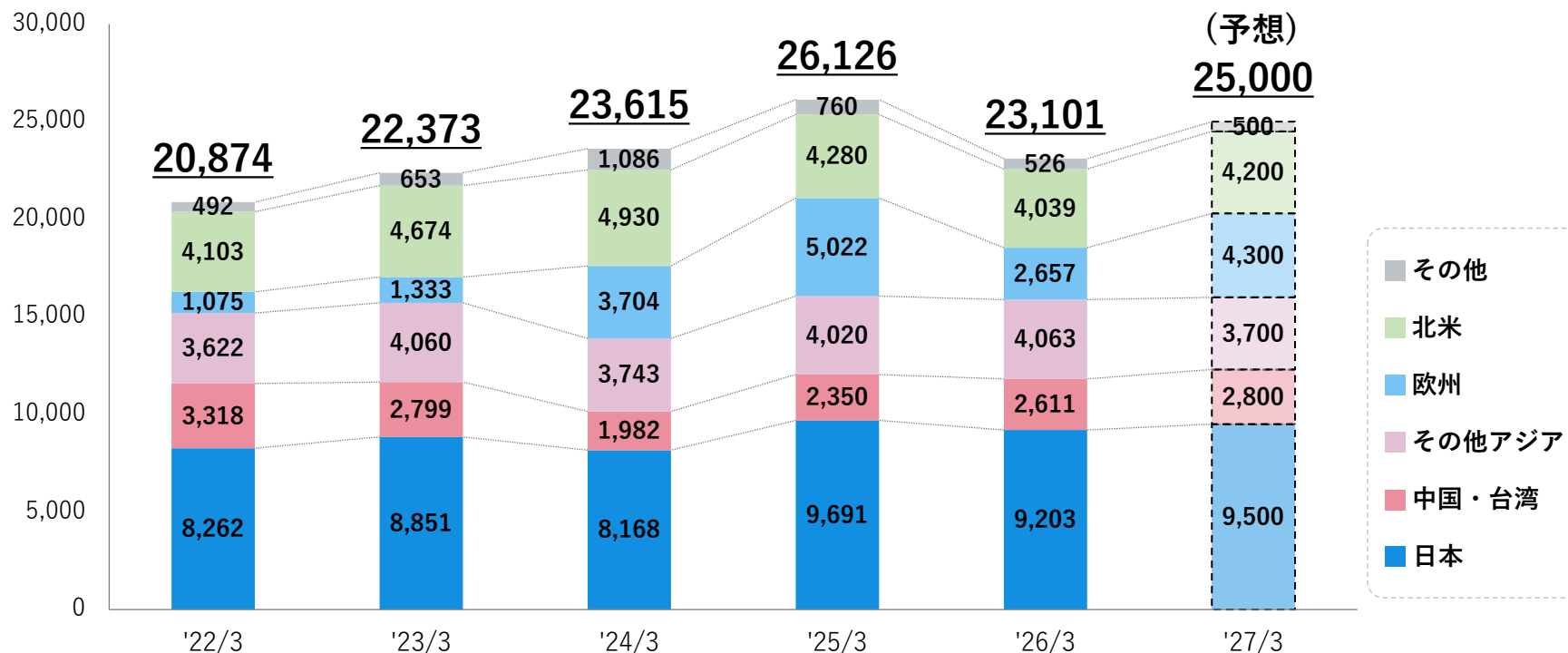
- 多業種展開によるリスク分散
- メディカル関連における売上が一時大幅に減少したものの、**需要回復基調**
- '27年3月期は、**AI関連需要**によるエレクトロニクス分野の伸長を見込む

売上高 (百万円)



- 売上の6～7割が海外市場
- 各地域でローカライズを進め顧客ニーズを取り込む
- '27年3月期は、日米中が堅調に推移するとともに、欧州においてもメディカル関連特注機の需要回復を見込む

売上高（百万円）



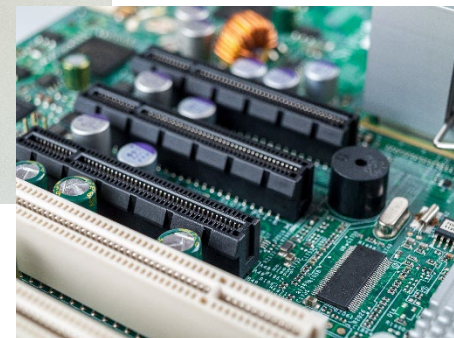
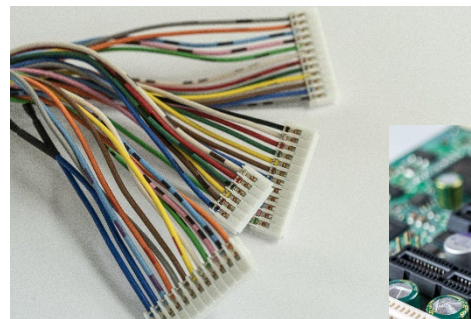
生成AIの普及により、高速データ処理を担うデータセンター需要が世界的に拡大

データセンターの増強・新設に伴い、高速通信用コネクタの使用量が増大

コネクタ成形現場で稼働する当社ロボットの需要が拡大



コネクタの一例



1. 会社概要・事業紹介

2. YUSHINの歴史

3. 直近の業績

4. 中長期経営目標・戦略

5. 株主還元策

経営理念

我社は人間尊重を基本として、
公正かつ健全な「力と知恵と勇気」をもって行動し、
信頼される会社として歩み続けます。
世界に向けて常に革新ある技術を創造し、広く社会に貢献します。
我々仲間は一致協力して社業の発展に尽くし、
心豊かな生活を得ることを目指します。

目指す姿

お客様に喜ばれる商品とサービスを提供し、信頼される会社
事業活動を通し、社会に貢献する会社
やりがいをもって安心して働ける会社

基本方針

お客様を取り巻く社会課題・ 環境変化の解決

サステナビリティ経営の重要課題
(マテリアリティ)として
「労働安全性の強化」、「お客様
工場の生産性向上」、「気候変動
への対応」を設定し社会課題解決
や環境変化の解決に向けた取組み
を進めてまいります。

ステークホルダーの 経済価値創出

自動化機器の提供を通じた顧客企
業の利益創出、サプライヤーとの
双方向のコミュニケーションによ
る共存共栄、株主価値向上等によ
りステークホルダーの経済価値の
向上に取り組んでまいります。

経営基盤の強化

サステナビリティ経営の重要課題
(マテリアリティ)として
「人的資本の強化」、「コーポ
レート・ガバナンスの強化」を設
定し中長期的な成長に向けた基盤
づくりを強力に進めてまいります。

事業戦略

①

未来を切り拓く
人財への投資

②

グローバル
販売力の強化

③

商品力の強化

④

新規事業の開拓

経営目標

中期経営目標

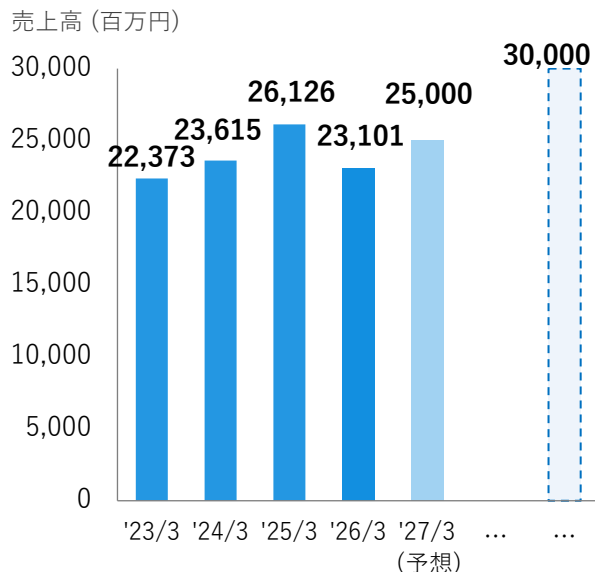
連結売上高 **300億円**

※足元の事業環境を踏まえ、時期について見直しを行う
(2026年3月期：231億円)

長期的に目指す経営指標

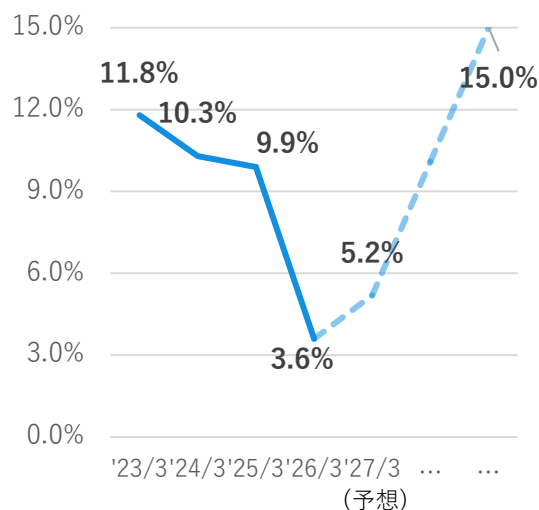
- ・営業利益率 **15%以上**
(2026年3月期：3.6%)
- ・ROE **8%以上**
(2026年3月期：0.8%)

連結売上高



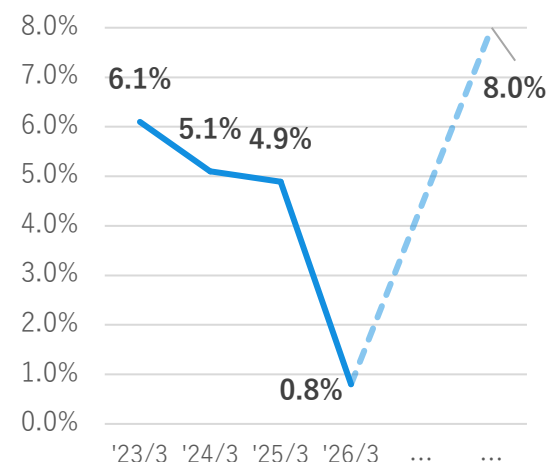
- ✓ 中期経営目標 (連結売上高300億円) については、**足元の事業環境を踏まえ目標達成時期の見直しを行う**
- ✓ 各地域における**市場シェア拡大**の取組み推進、特注機の販売増により、目標の早期達成を目指す

営業利益率



- ✓ 直近は**中長期的な成長を見据えた先行投資と原材料価格の高騰**などの影響を受け、利益率が低下
- ✓ 先行投資を**早期に利益率向上の成果につなげる**

ROE



- ✓ 長期にわたって使用される設備機械をお客様に安心してお使いいただくため、**強固な財務基盤を維持**
- ✓ **中長期的な成長を見据えた先行投資**の効果により向上を図る
- ✓ 自己株式取得 (2025/11～2026/2)

企業理念の浸透を軸に、 人的資本強化の取組みを推進

- ・ 「まず、想いにとどく」をコンセプトに
CI・人財育成ポリシーを策定
- ・ 多様な人財の価値観・考え方を
活かした組織づくり

キャリアのステージに応じた 階層別の教育制度の充実

- ・ 技術研修（eラーニングも整備）
- ・ 次世代リーダー育成プログラム
- ・ マネジメント研修

仕事のやりがい・ 働きやすさの向上に 向けた環境づくり

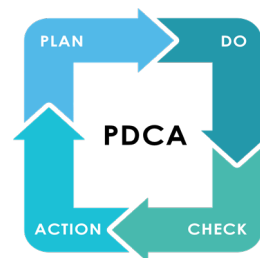
- ・ 創造性・主体性を持った人財を養う
「イノベーションプロジェクト活動提案制度」

進捗

社内各部門の体制強化が進む。現在は、人財育成に重点を置き取組みを推進

人的資本の強化

- ① コーポレート・アイデンティティ（CI）活動の推進
- ② 理念浸透型の人事制度・人財育成ポリシーの整備
- ③ 人財の多様性の確保、ダイバーシティマネジメント
- ④ キャリアのステージに応じた教育制度の充実
- ⑤ 仕事のやりがい、働きやすさの向上などのための環境づくり



施策強化

お客様の想いに届き、
社会に貢献する
商品やサービスを
提供する

戦略② グローバル販売力の強化

YUSHIN

欧州を中心とした
グローバル市場での
シェアアップ

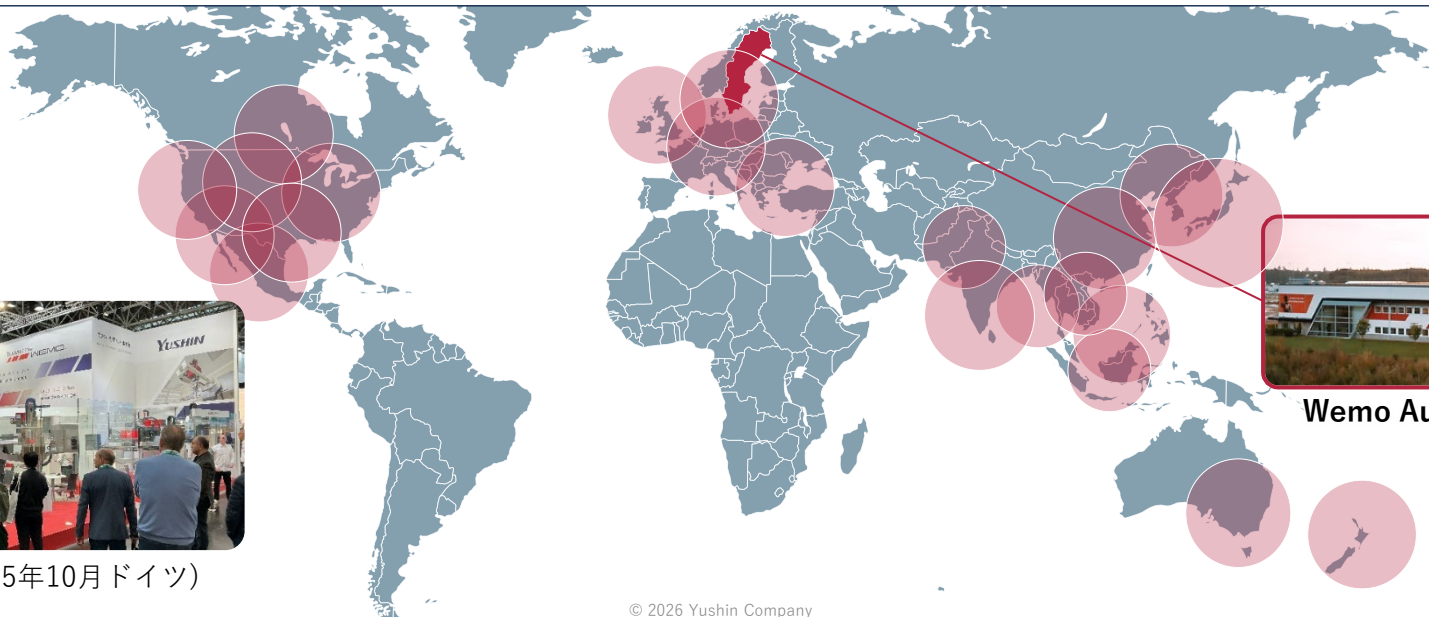
グローバル規格対応
(欧州安全基準の
完全準拠商品の拡充)

世界各国の
トップクラス企業を
ターゲット

お客様が目指される
スマートファクト
リー構築への対応

進捗

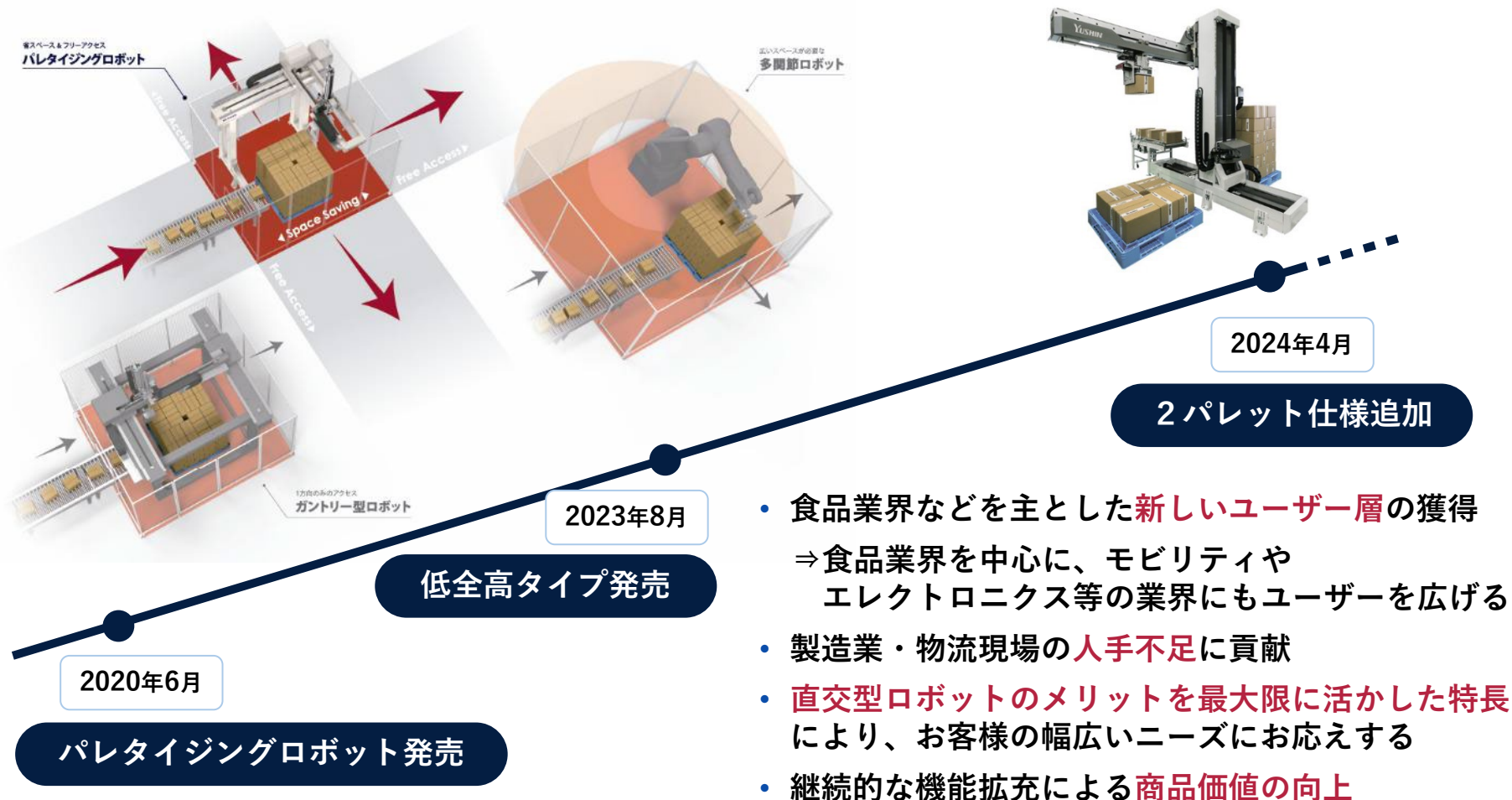
WEMO社のグループ会社化による欧州販売力の強化
今後は、グループ間連携を一層推進



Wemo Automation AB



K2025 (2025年10月ドイツ)



進捗

パレタイジングロボット発売以来、売上高は堅調に推移

パレタイジングロボット紹介

YUSHIN



物流・出荷工程の人手不足対応や作業負荷低減を目的に、当社パレタイジングロボットを導入いただいたお客様の取り組みとその効果をインタビューを通じて紹介しています。当社製品の活用分野の広がりも感じていただける内容となっています。

現在公開中のコンテンツ

■ 株式会社ニッセイ様

低天井・狭小スペースの自動化を実現 | 社員の負担軽減と採用課題を同時に解決

■ パナソニック エナジー株式会社様

特殊パレットや複雑な動きの自動化を実現 | CO₂ゼロ工場を支える安定稼働の仕組み

■ 株式会社れんこん三兄弟様

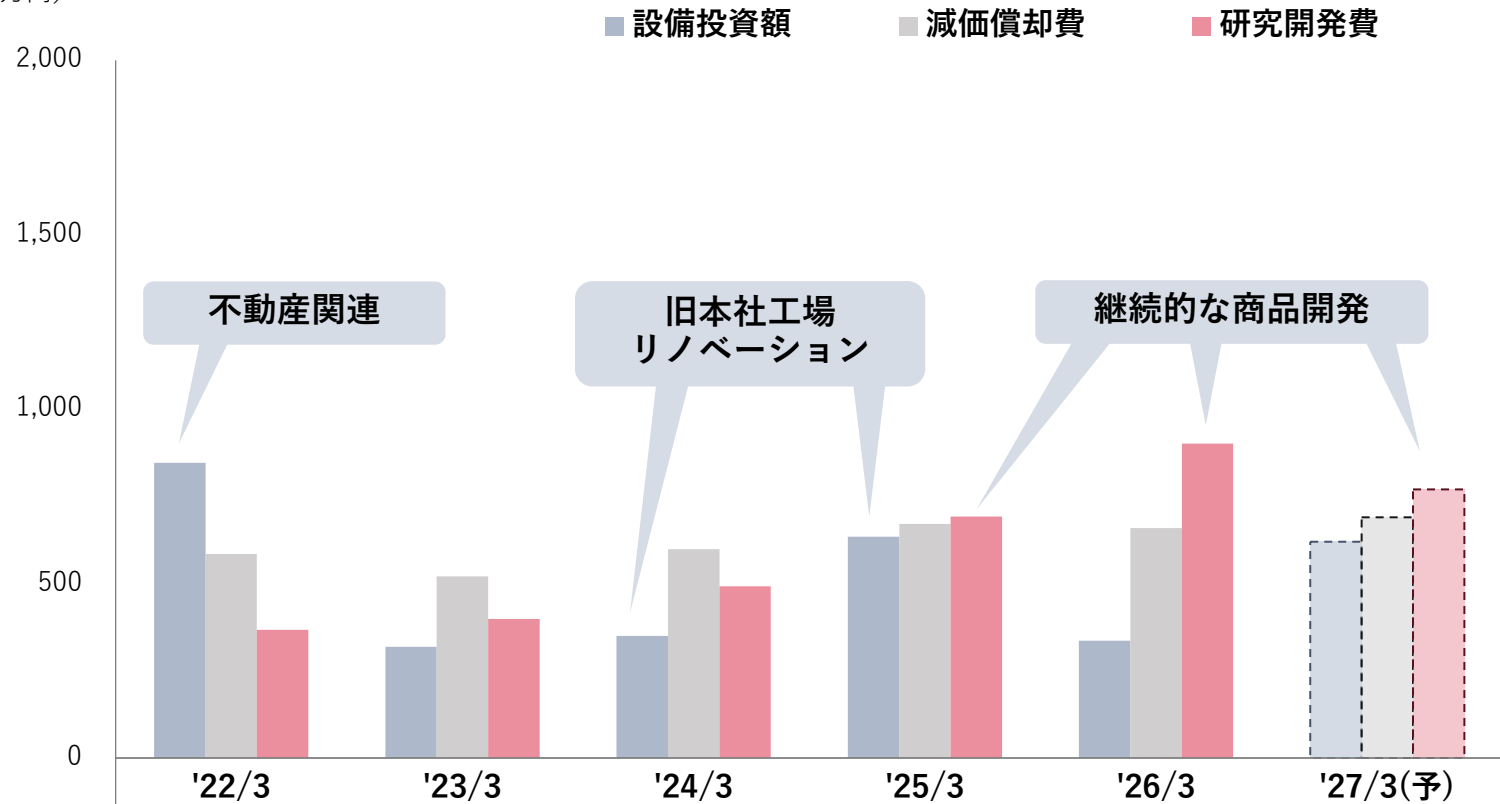
農業の重労働と採用課題を打破 | 限られたスペースでの自動化とミスをゼロにする現場改善

導入事例インタビューは当社Webサイトにて公開中です。→
今後さらにコンテンツを拡充予定です。ぜひご覧ください。



設備投資額・減価償却費・研究開発費

(百万円)



■ 設備投資額	846	319	350	634	336	620
■ 減価償却費	585	521	599	671	659	690
■ 研究開発費	367	399	492	692	901	770

持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値の向上に向けて、
5つのマテリアリティ(重要課題)を特定しています。

事業を通じた社会課題の解決



1. 労働安全性の強化
2. お客様工場の生産性向上
3. 気候変動への対応

< 主な施策 >

- ・安全性能を高めた商品の開発
- ・労働安全に関するスクール実施
- ・高速、高精度なロボットの開発、販売
- ・環境性能を高めた商品の開発

お客様と共に
目指すSDGs項目



YUSHINグループの持続的成長に向けた経営基盤の強化



4. 人的資本の強化
5. コーポレート・ガバナンスの強化

- ・イノベーションが起こりやすい風土、環境づくり
- ・それぞれのライフステージに対応した継続的に働ける制度づくり
- ・コーポレート・アイデンティティ(CI)の浸透
- ・取締役会の機能強化と実効性評価
- ・指名・報酬委員会の実効性維持

温室効果ガス排出量の低減に関する目標

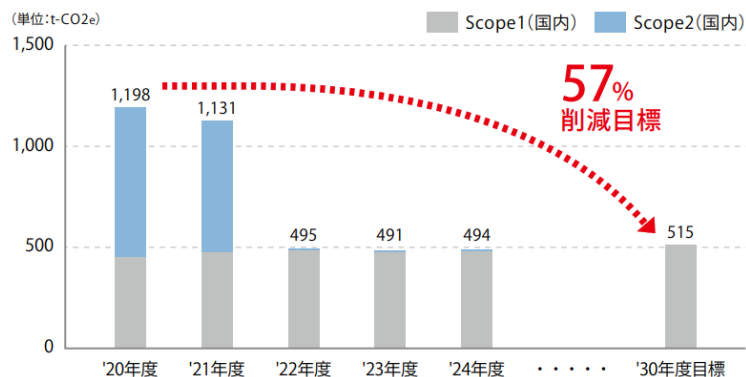
目標：2030年度末までに2020年度比57%削減

2030年度末までに国内のScope1・2（自社での燃料使用による直接排出量および自社が購入した電力や熱の使用による間接排出量）の合計を「2020年度比57%削減」することを目標としています。

目標達成のための施策

- 再生可能エネルギーの導入
- 環境配慮型自動車への段階的切替え（目標：2030年度末までに導入率77%）
- 電気自動車(EV)の導入

温室効果ガス排出量 (Scope1,2)

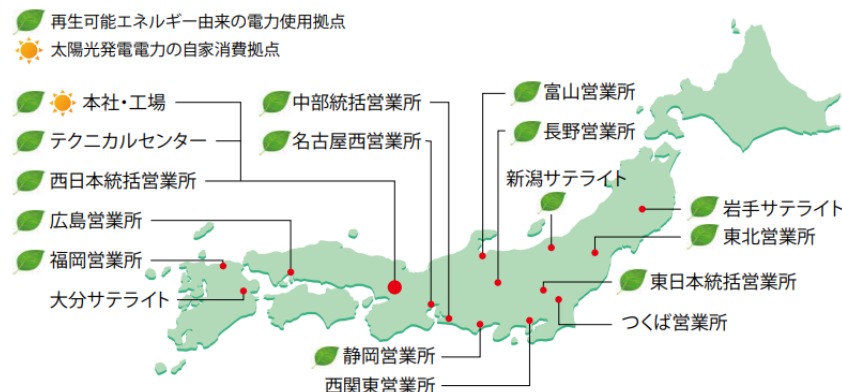


		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
Scope1	国内	456	480	493	489	492
	海外 ^{※2}	-	-	-	614 ^{※3}	688
Scope2	国内	742	650	2	2	2
	海外 ^{※2}	-	-	-	465 ^{※3}	491

※2 海外拠点については、2023年度から算出を開始しています。

※3 海外拠点の2023年度実績について、WEMO 社は9か月分のみ算出です。

再生可能エネルギー由来の電力導入拠点



詳細は当社Webサイトにてご覧いただけます→



1. 会社概要・事業紹介
2. YUSHINの歴史
3. 直近の業績
4. 中長期経営目標・戦略
- 5. 株主還元策**

01.

社会課題の
解決に貢献できる
商品・サービス
創出のための戦略投資

02.

長期視点での
持続的成長の
実現に向けた投資

03.

機動的かつ持続的な
投資に備え、強固な
財務基盤を維持しながら、
ステークホルダーの
皆様のご期待に沿える
取組みを推進



キャッシュ
創出

営業CF

手元資金



キャッシュ
活用

戦略投資

事業運営資金

株主還元

人的資本投資・研究開発投資

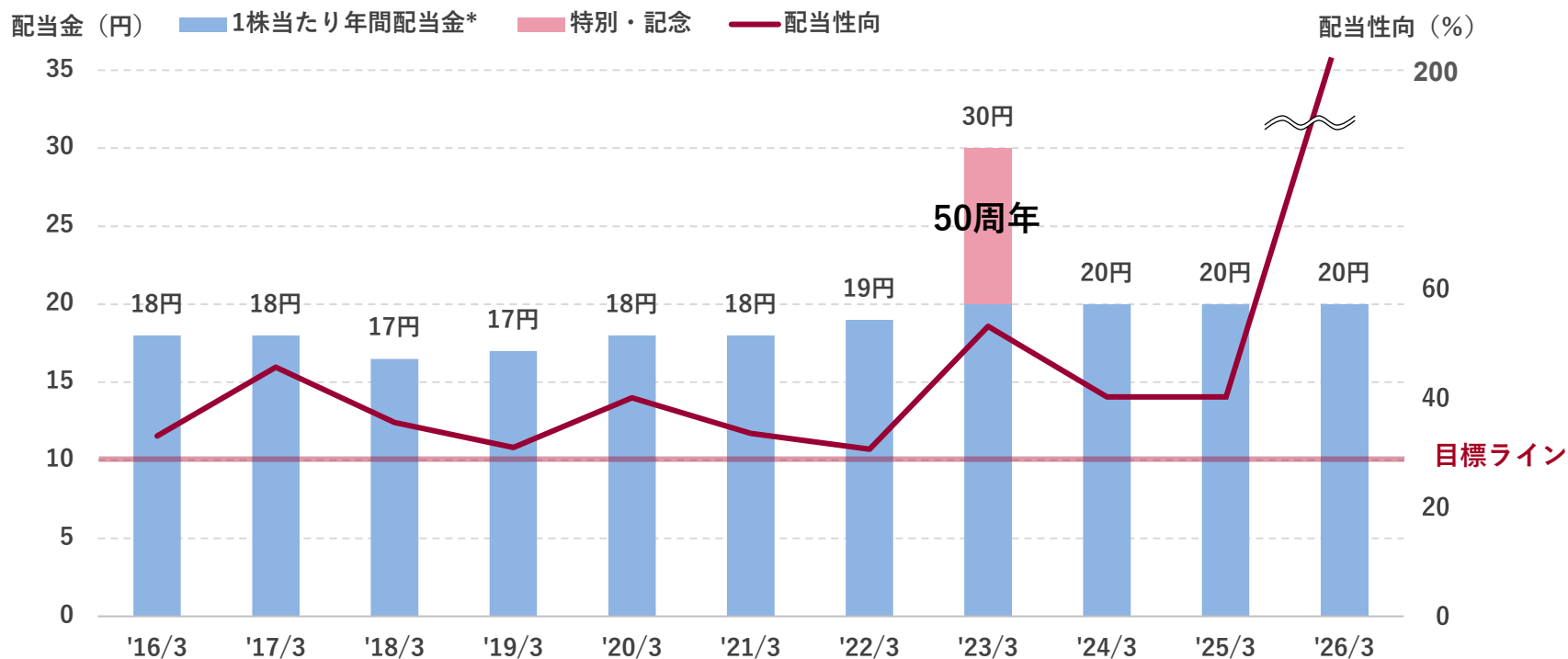
次世代成長投資・設備投資

増販による運転資金の増加
不測の事態への備え

配当（配当性向30%以上）
自己株式の取得

配当方針

- 安定的かつ継続的な株主還元を実現するため、**配当性向は30%以上**を目標
- 連結業績の向上により、普通配当水準の引き上げを図る



* 年間配当金は、2018年4月1日付の株式分割(1:2)後ベースに換算したものです。

過去10年間の株価推移（月足）





問い合わせ先：経営企画部

(TEL) 075-933-9555 (E-mail) IRinfo@yushincompany.jp

<https://yushincompany.jp>

IRサイトでは、説明会情報や各種資料を配信しています。

<https://ir.yushincompany.jp/ja/Top.html>

こちらからIRサイトにアクセスいただけます。→



注意事項：

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があることにご留意ください。

又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

本資料の転載はご遠慮下さい。